

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第6760167号  
(P6760167)

(45) 発行日 令和2年9月23日 (2020.9.23)

(24) 登録日 令和2年9月7日 (2020.9.7)

(51) Int.Cl.

F I

B 4 1 J 2/355 (2006.01)

B 4 1 J 2/355

D

B 4 1 J 2/355

Z

請求項の数 8 (全 19 頁)

(21) 出願番号 特願2017-58585 (P2017-58585)  
 (22) 出願日 平成29年3月24日 (2017.3.24)  
 (65) 公開番号 特開2018-161741 (P2018-161741A)  
 (43) 公開日 平成30年10月18日 (2018.10.18)  
 審査請求日 令和1年5月21日 (2019.5.21)

(73) 特許権者 000001443  
 カシオ計算機株式会社  
 東京都渋谷区本町 1 丁目 6 番 2 号  
 (74) 代理人 100074099  
 弁理士 大菅 義之  
 (74) 代理人 100121083  
 弁理士 青木 宏義  
 (74) 代理人 100138391  
 弁理士 天田 昌行  
 (72) 発明者 伊藤 正樹  
 東京都羽村市栄町 3 丁目 2 番 1 号 カシオ  
 計算機株式会社 羽村技術センター内

審査官 上田 正樹

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 印刷装置、印刷システム、印刷制御方法、及び、プログラム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の発熱素子を有し、印刷データに基づいて被印刷媒体に複数の印刷ラインによる画像を印刷するサーマルヘッドと、

制御装置と、

前記被印刷媒体の幅を検出する幅検出部と、

を備える印刷装置であって、

前記制御装置は、

前記サーマルヘッドによる印刷開始時から制御期間が経過した後の通常動作期間では、一つの前記印刷ラインの印刷を、前記印刷データに応じた少なくとも 1 回の第 1 の印刷により行うように制御し、

前記制御期間では、前記印刷データによらず、一つの前記印刷ラインの印刷を、前記複数の発熱素子を複数のグループに分割してグループ毎に時分割で印刷する複数回の第 2 の印刷により行うように制御し、

前記被印刷媒体の幅が前記印刷装置により一括して通電することが可能な数の発熱素子に対応する長さ以下である場合に、前記通常動作期間においては一つの前記印刷ラインを 1 回の前記第 1 の印刷により印刷するように制御し、前記制御期間においては一つの前記印刷ラインを 2 回以上の前記第 2 の印刷により印刷するように制御する、

ことを特徴とする印刷装置。

【請求項 2】

10

20

前記制御装置は、前記通常動作期間では、前記第 1 の印刷として、前記印刷データに応じて通電される前記発熱素子の数に応じて、前記通電される前記発熱素子を一括駆動して行う一括印刷又は前記通電される前記発熱素子を複数のグループに分割してグループ毎に時分割で駆動して行う分割印刷を行うように制御する、

ことを特徴とする請求項 1 記載の印刷装置。

【請求項 3】

前記制御装置は、前記制御期間に印刷される前記複数の印刷ラインにおいて、前記グループ毎の前記発熱素子を前記複数の発熱素子の配列方向に互いに分散して位置させる、

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の印刷装置。

【請求項 4】

前記制御装置は、前記制御期間に印刷される前記複数の印刷ラインにおいて、前記グループ毎の前記発熱素子が前記配列方向に互いに交互に並ぶように位置させる、

ことを特徴とする請求項 3 記載の印刷装置。

【請求項 5】

前記制御期間は、前記サーマルヘッドによる印刷開始時から所定数の印刷ラインを印刷する期間である、

ことを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項記載の印刷装置。

【請求項 6】

印刷装置と、

印刷制御装置と、を備え、

前記印刷装置は、複数の発熱素子を有し、印刷データに基づいて被印刷媒体に複数の印刷ラインを印刷するサーマルヘッドと、前記被印刷媒体の幅を検出する幅検出部と、を備え、

前記印刷制御装置は、前記サーマルヘッドによる印刷開始時から制御期間が経過した後の通常動作期間では、一つの前記印刷ラインの印刷を、前記印刷データに応じた少なくとも 1 回の第 1 の印刷により行うように制御し、

前記制御期間では、前記印刷データによらず、一つの前記印刷ラインの印刷を、前記複数の発熱素子を複数のグループに分割してグループ毎に時分割で印刷する複数回の第 2 の印刷により行うように制御し、

前記被印刷媒体の幅が、前記印刷装置により一括して通電することが可能な数の発熱素子に対応する長さ以下である場合に、前記通常動作期間においては一つの前記印刷ラインを 1 回の前記第 1 の印刷により印刷するように制御し、前記制御期間においては一つの前記印刷ラインを 2 回以上の前記第 2 の印刷により印刷するように制御する、

ことを特徴とする印刷システム。

【請求項 7】

複数の発熱素子を有するサーマルヘッドと、被印刷媒体の幅を検出する幅検出部と、を備える印刷装置又は当該印刷装置を制御する印刷制御装置が、前記サーマルヘッドによる印刷開始時から制御期間が経過した後の通常動作期間では、一つの印刷ラインの印刷を、印刷データに応じた少なくとも 1 回の第 1 の印刷により行うように制御し、

前記制御期間では、前記印刷データによらず、一つの前記印刷ラインの印刷を、前記複数の発熱素子を複数のグループに分割してグループ毎に時分割で印刷する複数回の第 2 の印刷により行うように制御し、

前記被印刷媒体の幅が、前記印刷装置により一括して通電することが可能な数の発熱素子に対応する長さ以下である場合に、前記通常動作期間においては一つの前記印刷ラインを 1 回の前記第 1 の印刷により印刷するように制御し、前記制御期間においては一つの前記印刷ラインを 2 回以上の前記第 2 の印刷により印刷するように制御する、

ことを特徴とする印刷制御方法。

【請求項 8】

複数の発熱素子を有するサーマルヘッドと、被印刷媒体の幅を検出する幅検出部と、を備える印刷装置のコンピュータ、又は、前記印刷装置と当該印刷装置を制御する印刷制御

10

20

30

40

50

装置とを備える印刷システムのコンピュータに、

前記サーマルヘッドによる印刷開始時から制御期間が経過した後の通常動作期間では、一つの印刷ラインの印刷を、印刷データに応じた少なくとも1回の第1の印刷により行うように制御させ、前記制御期間では、前記印刷データによらず、一つの前記印刷ラインの印刷を、前記複数の発熱素子を複数のグループに分割してグループ毎に時分割で印刷する複数回の第2の印刷により行うように制御させ、

前記被印刷媒体の幅が、前記印刷装置により一括して通電することが可能な数の発熱素子に対応する長さ以下である場合に、前記通常動作期間においては一つの前記印刷ラインを1回の前記第1の印刷により印刷するように制御し、前記制御期間においては一つの前記印刷ラインを2回以上の前記第2の印刷により印刷するように制御する機能、

10

を実現させることを特徴とするプログラム。

#### 【発明の詳細な説明】

#### 【技術分野】

#### 【0001】

本発明は、印刷装置と、この印刷装置を備える印刷システムと、印刷装置を用いた印刷制御方法と、印刷装置又は印刷システムのコンピュータに用いられるプログラムと、に関する。

#### 【背景技術】

#### 【0002】

20

従来、被印刷媒体を搬送しながら、サーマルヘッドに設けられた複数の発熱素子に対する通電を制御することで、被印刷媒体に印刷ラインごとに印刷を行う印刷装置が知られている。

#### 【0003】

このような印刷装置において、通電により発熱する発熱素子の熱によってインクリボンのインクを被印刷媒体に転写することで、被印刷媒体に印刷を行う印刷手法がある。

なお、従来、インクリボンが切れるのを避けるために、サーマルヘッドを印刷前に予備的に加熱するプリヒートという技法を用いられていた（例えば、特許文献1及び2参照）。

#### 【先行技術文献】

30

#### 【特許文献】

#### 【0004】

【特許文献1】特開2012-121332号公報

【特許文献2】特開2003-251846号公報

#### 【発明の概要】

#### 【発明が解決しようとする課題】

#### 【0005】

ところで、上述の印刷装置では、印刷速度の高速化に伴い、より瞬間的にサーマルヘッドを加熱する必要がある。しかしながら、瞬間的に熱を加えることはインクリボンにダメージを与えやすい。また、急激に温度を上昇させることで放熱板等の冷却部に熱が蓄積しないため、発熱素子が加熱されなくなるとサーマルヘッドが急激に冷めやすい。このようにサーマルヘッドにおいて高温から低温への急激な温度変化が生じたときに、サーマルヘッドにインクリボンが張り付いてしまうスティッキングと呼ばれる現象が生じる。スティッキングが発生すると、印刷が正常に行われず部分的に印刷が行われない領域が生じるため、印刷品位が著しく低下してしまう。また、スティッキングが発生すると、インクリボンが切れることがある。

40

#### 【0006】

図12A～図12Cは、参考技術におけるインクリボンの切れを説明するための説明図である。

図12Aに示すように、複数の発熱素子10aを有するサーマルヘッド10とプラテン

50

ローラ 21 との間に位置する被印刷媒体 M 及びインクリボン R は、印刷開始とともに、図 12B における右方向である搬送方向 D に搬送される。また、一部又は全部の発熱素子 10a は、図 12A に示すオフ状態（すなわち非通電状態）から、印刷開始とともに、図 12B に示すようにオン状態（すなわち通電状態）に切り替えられる。

【0007】

印刷開始時にサーマルヘッド 10 が急激に加熱された後、サーマルヘッド 10 やサーマルヘッド 10 を冷却するための放熱部材等の冷却部に熱が蓄えられる前に非通電期間に入ると、通電期間から非通電期間になったときの温度低下量が比較的大きく、この温度低下により、インクリボン R がサーマルヘッド 10 に貼り付くスティッキングが発生する。

【0008】

ところで、被印刷媒体 M の幅（搬送方向 D と厚さ方向とに直交する長さ）が所定長さ（例えば 18mm）を超える場合などに、1 印刷ラインの印刷で通電すべき発熱素子の数が所定数を超えると、1 印刷ラインを複数回に分けて印刷する可変分割印刷技術が用いられる。この可変分割印刷技術を用いることで、AC アダプタの電源容量に起因する制限を回避することができる。

【0009】

一方、被印刷媒体 M の幅が所定長さ以下では、1 印刷ラインを 1 度に印刷する、複数の発熱素子 10a の一括印刷が行われる。特に、このような複数の発熱素子 10a の一括印刷が行われる場合、被印刷媒体 M の幅方向の全体でインクリボン R がサーマルヘッド 10 に貼り付くスティッキングが発生しやすい。

【0010】

サーマルヘッド 10 に貼り付いた状態のインクリボン R が上述のように搬送方向 D に搬送され、巻き取られると、サーマルヘッド 10 からインクリボン R が剥がれる際に、インクリボン R への負荷が生じる。印刷開始時では、インクリボン R が静止状態から搬送方向 D に動き始めるために、インクリボン R に対して加速度が生じて、インクリボン R に比較的大きな引張り力がかかる。これらのために、図 12C に示すようにインクリボン R が切れてしまう場合がある（切断部分 Ra）。上記の引っ張り力は、被印刷媒体 M の幅が狭いほど強くなる。また、スティッキングは、低温環境時や高速印刷時に特に発生しやすい。

【0011】

なお、上記のプリヒートによってサーマルヘッドを予備的に加熱すると、印刷中以外にサーマルヘッド 10 を加熱することで消費電力が大きくなるとともに、プリヒートのための制御が必要になり制御が複雑になる。

1 つの側面では、本発明の目的は、簡単な制御で、インクリボンが切れるのを抑制することができる、印刷装置、印刷システム、印刷制御方法、及びプログラムを提供することである。

【課題を解決するための手段】

【0012】

1 つの態様では、印刷装置は、複数の発熱素子を有し、印刷データに基づいて被印刷媒体に複数の印刷ラインによる画像を印刷するサーマルヘッドと、制御装置と、前記被印刷媒体の幅を検出する幅検出部と、を備え、前記制御装置は、前記サーマルヘッドによる印刷開始時から制御期間が経過した後の通常動作期間では、一つの前記印刷ラインの印刷を、前記印刷データに応じた少なくとも 1 回の第 1 の印刷により行うように制御し、前記制御期間では、前記印刷データによらず、一つの前記印刷ラインの印刷を、前記複数の発熱素子を複数のグループに分割してグループ毎に時分割で印刷する複数回の第 2 の印刷により行うように制御し、前記被印刷媒体の幅が、前記印刷装置により一括して通電することが可能な数の発熱素子に対応する長さ以下である場合に、前記通常動作期間においては一つの前記印刷ラインを 1 回の前記第 1 の印刷により印刷するように制御し、前記制御期間においては一つの前記印刷ラインを 2 回以上の前記第 2 の印刷により印刷するように制御する。

【0013】

他の1つの態様では、印刷システムは、印刷装置と、印刷制御装置と、を備え、前記印刷装置は、複数の発熱素子を有し、印刷データに基づいて被印刷媒体に複数の印刷ラインを印刷するサーマルヘッドと、前記被印刷媒体の幅を検出する幅検出部と、を備え、前記印刷制御装置は、前記サーマルヘッドによる印刷開始時から制御期間が経過した後の通常動作期間では、一つの前記印刷ラインの印刷を、前記印刷データに応じた少なくとも1回の第1の印刷により行うように制御し、前記制御期間では、前記印刷データによらず、一つの前記印刷ラインの印刷を、前記複数の発熱素子を複数のグループに分割してグループ毎に時分割で印刷する複数回の第2の印刷により行うように制御し、前記被印刷媒体の幅が、前記印刷装置により一括して通電することが可能な数の発熱素子に対応する長さ以下である場合に、前記通常動作期間においては一つの前記印刷ラインを1回の前記第1の印刷により印刷するように制御し、前記制御期間においては一つの前記印刷ラインを2回以上の前記第2の印刷により印刷するように制御する。

10

## 【0014】

他の1つの態様では、印刷制御方法は、複数の発熱素子を有するサーマルヘッドと、被印刷媒体の幅を検出する幅検出部と、を備える印刷装置又は当該印刷装置を制御する印刷制御装置が、前記サーマルヘッドによる印刷開始時から制御期間が経過した後の通常動作期間では、一つの印刷ラインの印刷を、印刷データに応じた少なくとも1回の第1の印刷により行うように制御し、前記制御期間では、前記印刷データによらず、一つの前記印刷ラインの印刷を、前記複数の発熱素子を複数のグループに分割してグループ毎に時分割で印刷する複数回の第2の印刷により行うように制御し、前記被印刷媒体の幅が、前記印刷装置により一括して通電することが可能な数の発熱素子に対応する長さ以下である場合に、前記通常動作期間においては一つの前記印刷ラインを1回の前記第1の印刷により印刷するように制御し、前記制御期間においては一つの前記印刷ラインを2回以上の前記第2の印刷により印刷するように制御する。

20

## 【0015】

他の1つの態様では、プログラムは、複数の発熱素子を有するサーマルヘッドと、被印刷媒体の幅を検出する幅検出部と、を備える印刷装置のコンピュータ、又は、前記印刷装置と当該印刷装置を制御する印刷制御装置とを備える印刷システムのコンピュータに、前記サーマルヘッドによる印刷開始時から制御期間が経過した後の通常動作期間では、一つの印刷ラインの印刷を、印刷データに応じた少なくとも1回の第1の印刷により行うように制御させ、前記制御期間では、前記印刷データによらず、一つの前記印刷ラインの印刷を、前記複数の発熱素子を複数のグループに分割してグループ毎に時分割で印刷する複数回の第2の印刷により行うように制御させ、前記被印刷媒体の幅が、前記印刷装置により一括して通電することが可能な数の発熱素子に対応する長さ以下である場合に、前記通常動作期間においては一つの前記印刷ラインを1回の前記第1の印刷により印刷するように制御し、前記制御期間においては一つの前記印刷ラインを2回以上の前記第2の印刷により印刷するように制御する機能、を実現させる。

30

## 【発明の効果】

## 【0016】

前記態様によれば、簡単な制御で、インクリボンが切れるのを抑制することができる。

40

## 【図面の簡単な説明】

## 【0017】

【図1】一実施の形態に係る印刷装置を示す斜視図である。

【図2】一実施の形態に係る印刷装置に収納されるカセットを示す斜視図である。

【図3】一実施の形態に係る印刷装置のカセット収納部を示す斜視図である。

【図4】一実施の形態に係る印刷装置のカセット収納部を示す断面図である。

【図5】一実施の形態に係る印刷装置を示す制御ブロック図である。

【図6】一実施の形態に係る印刷装置の制御部を具体的に示す制御ブロック図である。

【図7】一実施の形態に係る印刷制御方法を説明するためのフローチャートである。

【図8】一実施の形態における印刷ラインごとの印刷回数を説明するための図である。

50

【図 9 A】一実施の形態における印刷ラインを一括印刷する場合の発熱素子の通電状態を説明するための図である。

【図 9 B】一実施の形態における印刷ラインを 2 分割印刷する場合の発熱素子の通電状態を説明するための図である。

【図 9 C】一実施の形態における印刷ラインを 3 分割印刷する場合の発熱素子の通電状態を説明するための図である。

【図 10】一実施の形態の変形例に係る印刷システムを示す斜視図である。

【図 11】一実施の形態の変形例に係る印刷システムの制御部を示す制御ブロック図である。

【図 12 A】参考技術におけるインクリボンの切れを説明するための説明図（その 1）である。 10

【図 12 B】参考技術におけるインクリボンの切れを説明するための説明図（その 2）である。

【図 12 C】参考技術におけるインクリボンの切れを説明するための説明図（その 3）である。

【発明を実施するための形態】

【0018】

以下、本発明の実施の形態に係る、印刷装置、印刷システム、印刷装置の制御方法、及びプログラムについて、図面を参照しながら説明する。

図 1 は、一実施の形態に係る印刷装置 1 を示す斜視図である。 20

【0019】

印刷装置 1 は、例えば、長尺状の被印刷媒体 M にシングルパス方式で印刷を行うラベルプリンタである。以降では、インクリボンを使用する熱転写方式のラベルプリンタを例にして説明するが、印刷方式や被印刷媒体 M の形状は特に限定されない。例えば、感熱紙に印刷を行う印刷方式であってもよい。図 2 に示すように、被印刷媒体 M は、接着層を有する基材 M a と、接着層を覆うように剥離可能に基材 M a に貼付された剥離紙 M b と、を有する例えばテープ部材である。被印刷媒体 M は、離型紙なしの単一の部材（例えば基材 M a）のみからなるものであってもよい。

【0020】

印刷装置 1 は、図 1 に示すように、装置筐体 2 と、入力部 3 と、表示部 4 と、開閉蓋 1 8 と、カセット収納部 19 と、を備える。装置筐体 2 の上面には、入力部 3、表示部 4、及び開閉蓋 18 が配置されている。また、図示しないが、装置筐体 2 には、電源コード接続端子、外部機器接続端子、記憶媒体挿入口等が設けられている。 30

【0021】

入力部 3 は、入力キー、十字キー、変換キー、決定キーなどの種々のキーを備える。表示部 4 は、例えば液晶表示パネルであり、入力部 3 からの入力に対応する文字等、各種設定のための選択メニュー、各種処理に関するメッセージ等を表示する。また、印刷中には、被印刷媒体 M への印刷が指示された文字や図形等の内容（以降、印刷内容と記す）が表示され、印刷処理の進捗状況が表示されてもよい。なお、表示部 4 にはタッチパネルユニットが設けられていてもよく、その場合、表示部 4 を入力部 3 の一部として看做してもよい。 40

【0022】

開閉蓋 18 は、カセット収納部 19 の上部に設けられ、カセット収納部 19 を開閉可能に覆う。開閉蓋 18 は、ボタン 18 a を押下されることにより開放される。開閉蓋 18 には、この開閉蓋 18 が閉じた状態でもカセット収納部 19 にカセット 30（図 2 参照）が収納されているか否かを目視で確認可能とするために、窓 18 b が形成されている。また、装置筐体 2 の側面には、排出口 2 a が形成されている。印刷装置 1 内で印刷が行われた被印刷媒体 M は、排出口 2 a から装置外へ排出される。

【0023】

図 2 は、印刷装置 1 に収納されるカセット 30 を示す斜視図である。 50

図 3 は、印刷装置 1 のカセット収納部 19 を示す斜視図である。

図 4 は、印刷装置 1 のカセット収納部 19 を示す断面図である。

【 0 0 2 4 】

図 2 に示すカセット 30 は、被印刷媒体 M を收容し、図 3 に示すカセット収納部 19 に着脱自在に収納される。図 4 には、カセット 30 がカセット収納部 19 に収納された状態が示されている。カセット 30 は、図 2 に示すように、サーマルヘッド被挿入部 36 及び係合部 37 が形成された、被印刷媒体 M 及びインクリボン R を收容するカセットケース 31 を有する。

【 0 0 2 5 】

さらに、カセットケース 31 には、テープコア 32 とインクリボン供給コア 34 とインクリボン巻取りコア 35 とが設けられている。被印刷媒体 M は、カセットケース 31 の内部のテープコア 32 にロール状に巻かれている。また、熱転写用のインクリボン R は、その先端がインクリボン巻取りコア 35 に巻きつけられた状態で、カセットケース 31 の内部のインクリボン供給コア 34 にロール状に巻かれている。

【 0 0 2 6 】

装置筐体 2 のカセット収納部 19 には、図 3 に示すように、カセット 30 を所定の位置に支持するための複数のカセット受け部 20 が設けられている。また、カセット受け部 20 には、被印刷媒体 M の幅を検出する幅検出部の一例であるテープ幅検出スイッチ 24 が設けられている。カセット収納部 19 は、被印刷媒体 M の幅が異なる複数種類のカセット 30 を選択的に収納可能であるため、テープ幅検出スイッチ 24 は、カセット 30 の形状（カセット 30 に設けられた凹凸の形状）に基づいて、被印刷媒体 M の幅を検出し、検出された被印刷媒体 M の幅を示すセンサ信号を出力する。

【 0 0 2 7 】

カセット収納部 19 には、さらに、被印刷媒体 M に形成すべき印刷内容を示すデータ（以降、印刷データと記す）に基づいて被印刷媒体 M に複数の印刷ラインによる画像を印刷するサーマルヘッド 10 と、被印刷媒体 M を搬送するプラテンローラ 21 と、テープコア係合軸 22 と、インクリボン巻取り駆動軸 23 と、が設けられている。さらに、サーマルヘッド 10 には、サーミスタ 13 が埋め込まれている。サーミスタ 13 は、サーマルヘッド 10 の温度を測定するヘッド温度測定部の一例である。

【 0 0 2 8 】

カセット 30 がカセット収納部 19 に収納された状態では、図 4 に示すように、カセットケース 31 に設けられた係合部 37 がカセット収納部 19 に設けられたカセット受け部 20 に支持されて、サーマルヘッド 10 がカセットケース 31 に形成されたサーマルヘッド被挿入部 36 に挿入される。また、テープコア係合軸 22 には、カセット 30 のテープコア 32 が係合し、さらに、インクリボン巻取り駆動軸 23 には、インクリボン巻取りコア 35 が係合する。

【 0 0 2 9 】

印刷装置 1 に印刷指示が入力されると、被印刷媒体 M は、プラテンローラ 21 の回転によりテープコア 32 から繰り出される。この際、インクリボン巻取り駆動軸 23 がプラテンローラ 21 に同調して回転することで、被印刷媒体 M とともにインクリボン R がインクリボン供給コア 34 から繰り出される。これにより、被印刷媒体 M とインクリボン R とが重なった状態で搬送される。そして、サーマルヘッド 10 とプラテンローラ 21 との間を通過する際にインクリボン R がサーマルヘッド 10 によって加熱されることで、インクが被印刷媒体 M に転写されて、印刷データに基づく画像の印刷が行われる。

【 0 0 3 0 】

サーマルヘッド 10 とプラテンローラ 21 の間を通過した使用済みのインクリボン R は、インクリボン巻取りコア 35 に巻き取られる。一方、サーマルヘッド 10 とプラテンローラ 21 との間を通過した印刷済みの被印刷媒体 M は、後述するフルカット機構 16 及びハーフカット機構 17 で切断され、排出口 2a から排出される。

【 0 0 3 1 】

図 5 は、印刷装置 1 を示す制御ブロック図である。

印刷装置 1 は、上述の入力部 3、表示部 4、サーマルヘッド 10、フルカット機構 16、ハーフカット機構 17、プラテンローラ 21、及びテープ幅検出スイッチ 24 に加えて、制御装置 5、ROM (Read Only Memory) 6、RAM (Random Access Memory) 7、表示部駆動回路 8、ヘッド駆動回路 9、搬送用モータ駆動回路 11、ステッピングモータ 12、カッターモータ駆動回路 14、カッターモータ 15、及び温度センサ 25 を備える。なお、制御装置 5、ROM 6、及び RAM 7 は、印刷装置 1 のコンピュータの一例である。

#### 【0032】

制御装置 5 は、例えば CPU (Central Processing Unit) などのプロセッサ 5a を含む。制御装置 5 は、ROM 6 に記憶されているプログラムを RAM 7 に展開し実行することで、印刷装置 1 の各部の動作を制御する。

10

#### 【0033】

制御装置 5 は、例えば、制御信号であるストローク信号、及び印刷ラインデータを生成し、ヘッド駆動回路 9 へ供給する。これにより、制御装置 5 は、ヘッド駆動回路 9 を介して、サーマルヘッド 10 が有する複数の発熱素子 10a の通電を制御する。また、制御装置 5 は、搬送用モータ駆動回路 11 及びステッピングモータ 12 を介してプラテンローラ 21 を制御する。更には、制御装置 5 は、カッターモータ駆動回路 14 及びカッターモータ 15 を介してフルカット機構 16 及びハーフカット機構 17 を制御する。

#### 【0034】

20

ROM 6 は、例えば、通電テーブルを記憶する図 6 に示す通電テーブル記憶部 6a を有する。また、ROM 6 は、被印刷媒体 M に印刷を行う印刷プログラム、及び印刷プログラムの実行に必要な各種データ (例えば、フォント等) を記憶する。また、ROM 6 は、制御装置 5 によって読取り可能なプログラムが記憶された記憶媒体としても機能する。

#### 【0035】

図 6 に示すように、RAM 7 は、印刷データを記憶する印刷データ記憶部 7a と、印刷モードを記憶する印刷モード記憶部 7b と、を有する。また、RAM 7 は、印刷についての情報や表示部 4 への表示データを記憶するデータメモリとして機能する。

#### 【0036】

表示部駆動回路 8 は、RAM 7 に記憶された表示用データに基づいて表示部 4 を制御する。表示部 4 は、表示部駆動回路 8 の制御下で、例えば、印刷処理の進捗状況が認識可能な態様で印刷内容を表示してもよい。

30

#### 【0037】

ヘッド駆動回路 9 は、制御装置 5 から供給されたストローク信号及び印刷ラインデータに基づいてサーマルヘッド 10 を駆動する。より詳細には、ヘッド駆動回路 9 は、ストローク信号がオンである期間 (以降、通電制御期間と記す) 中に、印刷内容に基づいてサーマルヘッド 10 の複数の発熱素子 10a へ供給する電流の通電又は非通電を行う。

#### 【0038】

サーマルヘッド 10 は、被印刷媒体 M の幅方向である主走査方向に配列された複数の発熱素子 10a を有する。ヘッド駆動回路 9 が、制御装置 5 から供給されたストローク信号の通電制御期間中に、印刷データに応じて発熱素子 10a へ供給する電流を選択的に通電することで、発熱素子 10a が発熱してインクリボン R を加熱する。これにより、サーマルヘッド 10 は、熱転写により被印刷媒体 M に 1 印刷ラインずつ印刷を行う。

40

#### 【0039】

搬送用モータ駆動回路 11 は、ステッピングモータ 12 を駆動する。ステッピングモータ 12 は、被印刷媒体 M を搬送するための搬送モータの一例であり、プラテンローラ 21 を駆動する。プラテンローラ 21 は、ステッピングモータ 12 の動力によって回転することで被印刷媒体 M の長尺方向 (副走査方向、図 4 に示す搬送方向 D) に被印刷媒体 M を搬送する搬送部の一例である。

#### 【0040】

50



カッターモータ駆動回路 14 は、カッターモータ 15 を駆動する。フルカット機構 16 及びハーフカット機構 17 は、カッターモータ 15 の動力によって動作し、被印刷媒体 M をハーフカット又はフルカットする。フルカットとは、被印刷媒体 M の基材 M a ( 図 2 参照 ) を剥離紙 M b とともに幅方向に沿って切断する動作のことであり、ハーフカットは、基材 M a のみを幅方向に沿って切断する動作のことである。

【 0 0 4 1 】

温度センサ 25 は、印刷装置 1 の周囲の環境温度を測定する環境温度測定部の一例である。

以上のように構成された印刷装置 1 では、サーマルヘッド 10 により被印刷媒体 M に印刷される印刷データに基づく画像は、搬送方向 D に直交する方向に延在し搬送方向 D に互いに隣接する複数の印刷ラインで構成されている。なお、1つの印刷ラインの印刷において、サーマルヘッド 10 が有する複数の発熱素子 10 a に対して一度に通電を行おうとした場合には、サーマルヘッド 10 に電圧を印加する電源アダプタの電流容量が不足する可能性がある。

10

【 0 0 4 2 】

そこで、被印刷媒体 M の幅が長いときなどに、1つの印刷ラインの印刷で、印刷データに応じて通電される発熱素子 10 a の数が所定数を超える場合には、印刷装置 1 は、その通電される発熱素子 10 a を複数のグループに分割し、1つの印刷ラインの印刷を、グループ毎に時分割によって複数回に分けて印刷する分割印刷により行う。ここで、分割印刷におけるグループ毎の印刷の回数を印刷回数とする。即ち、制御装置 5 は、印刷ラインを構成する印刷ドットの数に応じた印刷回数でその印刷ラインの印刷が行われるように、サーマルヘッド 10 を制御する。ここで、印刷ラインとは、被印刷媒体 M 上の印刷対象となるラインのことをいう。また、印刷ドットとは、印刷ラインを構成する複数のドットの各々のことをいい、1つの印刷ドットは通電される1つの発熱素子 10 a に対応する。

20

【 0 0 4 3 】

印刷回数を変える可変分割印刷が行われる場合、電源アダプタの電流容量を増やすことなく可能な限り印刷速度 ( 搬送速度 ) を高速化することができる。また、サーマルヘッド 10 の過熱に起因する印刷品位の低下やサーマルヘッド 10 の耐久性の劣化を抑制することができる。

【 0 0 4 4 】

印刷ラインを一度に印刷する場合 ( 以降、一括印刷と記す ) と複数回に分けて印刷する場合 ( 以降、分割印刷と記す ) とでは印刷に必要な時間が異なり、一括印刷の方がより短時間で1印刷ラインの印刷を行うことができる。このため、印刷装置 1 は、分割印刷時よりも一括印刷時のほうがより高速に被印刷媒体 M を搬送するように、構成されている。より詳細には、印刷装置 1 は、例えば、印刷回数が異なると、異なる搬送速度で被印刷媒体 M を搬送するように、構成されている。

30

【 0 0 4 5 】

図 6 は、印刷装置 1 の制御装置 5 を具体的に示す制御ブロック図である。

制御装置 5 は、データ生成部 50 及びヘッド制御部 60 を有する。なお、データ生成部 50 及びヘッド制御部 60 は、それぞれ専用の回路で構成されていてもよく、また、ROM 6 に格納されているプログラムの実行により実現されてもよい。

40

【 0 0 4 6 】

データ生成部 50 は、印刷ラインごとの印刷回数を決定する印刷回数決定部 51 と、印刷データに基づき、印刷ラインにおける印刷時に発熱させる発熱素子 10 a を指定する印刷ラインデータを決定する印刷ラインデータ決定部 52 と、を有する。なお、印刷ラインデータ決定部 52 が使用する印刷データは、RAM 7 の印刷データ記憶部 7 a から読み出される。

【 0 0 4 7 】

印刷回数決定部 51 は、サーマルヘッド 10 による印刷開始時から所定数の印刷ラインを印刷する期間 ( 以下、制御期間とする ) が経過した後の期間 ( 以下、通常動作期間 ) で

50

の印刷ラインの印刷における印刷回数を、印刷データに応じて通電される発熱素子 10 a の数に基づいて設定し、制御期間以降での印刷ラインの印刷における印刷回数を、印刷データによらず、通常動作期間での印刷回数よりも多くする。例えば、印刷回数決定部 51 は、被印刷媒体 M の幅が所定長さ以下である場合に、印刷開始時からの制御期間での印刷ラインの印刷における印刷回数を通常動作期間での印刷ラインの印刷における印刷回数よりも多くするように制御し、被印刷媒体 M の幅が所定長さを超える場合には、このような制御を行わない。

#### 【0048】

印刷開始時からの制御期間において印刷ラインの印刷回数をその後の通常動作期間での印刷ラインの印刷回数よりも多くすることに関しては、図 8 に示す被印刷媒体 M のように、制御期間に対応する印刷開始位置から例えば 1 mm の領域に含まれる所定数の印刷ラインは印刷回数を 2 回とし、通常動作期間に対応する領域に含まれる印刷ラインは印刷回数を 1 回とすることが一例として挙げられる。但し、印刷回数が 2 回と決定された印刷ラインであっても、印刷ドットの数がある基準よりも少ない場合などに印刷回数を 1 回にしてもよい。また、印刷回数が 1 回と決定された印刷ラインであっても、印刷ドットの数例えば上記の基準とは異なる基準よりも多い場合などに印刷回数を 2 回にしてもよい。

#### 【0049】

被印刷媒体 M の幅が所定長さ以下であることに関しては、例えば、被印刷媒体 M の幅が 18 mm 以下（例えば、3.5 mm、6 mm、9 mm、12 mm、18 mm）であるときにサーマルヘッド 10 が一括印刷を行うことが可能である場合には、所定長さを 18 mm に設定するとよい。サーマルヘッド 10 の温度が環境温度や、この環境温度に近い温度などの低温状態で、印刷開始時に複数の発熱素子 10 a による一括印刷が行われた場合、サーマルヘッド 10 が高温になった後の温度低下量が比較的大きいことで、インクリボン R がサーマルヘッド 10 に貼り付くスティッキングが被印刷媒体 M の幅方向の全体で発生する可能性があるが、一括印刷可能な状況で印刷開始時に印刷回数を増やすことでスティッキングの発生を抑制することができる。

#### 【0050】

また、印刷開始時からの制御期間における印刷ラインの印刷回数を通常動作期間での印刷ラインの印刷回数よりも多くすることに関して、被印刷媒体 M（インクリボン R）の幅が狭いほど、印刷開始時にスティッキングが発生した場合のインクリボン R に強い引っ張り力が生じるため、被印刷媒体 M の幅が狭いほど印刷回数を多くする印刷ラインの数（すなわち上記の所定数）を増やして、制御期間を長くするとよい。また、低温環境時ほど、上記の温度低下量が多くなりスティッキングが発生しやすいため、温度センサ 25 によって測定された環境温度が低いほど印刷回数を多くする印刷ラインの数（すなわち上記の所定数）を増やして、制御期間を長くするとよい。また、被印刷媒体 M の幅が狭いほど或いは環境温度が低いほど、印刷開始時から所定数の印刷ラインの印刷回数自体をより多くしてもよい。なお、印刷開始から時間が経つにつれて、サーマルヘッドやサーマルヘッドの冷却部における蓄熱量が増加するため、通電期間から非通電期間になったときの温度低下量は、印刷開始時よりも減少する。また、印刷開始から時間が経つにつれて被印刷媒体 M 及びインクリボン R が定常的に概ね一定速度で搬送されることになるため、インクリボン R に対する加速度が少なくなり、スティッキングが発生した場合の上記の引っ張り力も、インクリボン R が静止状態の印刷開始時よりも弱まる。そのため、本実施の形態では、印刷開始時からの制御期間での印刷ラインの印刷回数を、通常動作期間での印刷ラインの印刷回数よりも増やし、印刷開始時のスティッキングの発生を抑制している。

#### 【0051】

印刷ラインデータ決定部 52 は、複数回の印刷が行われる印刷ラインにおいて、当該複数回の印刷の各印刷時に発熱する発熱素子 10 a（印刷ドット）が配列方向 A（図 9 A ~ 図 9 C 参照）に分散して位置するように印刷ラインデータを決定するとよい。ここで、分散とは、被印刷媒体 M の幅方向である主走査方向（配列方向 A）に配列された複数の発熱素子 10 a のうち、発熱する発熱素子 10 a が、配列方向 A において印刷回ごとにまとま

って互いに隣接して存在する状態（例えば、主走査方向の一方側に１回目に印刷される発熱素子１０ａがまとまって互いに隣接して位置し、主走査方向の他方側に２回目に印刷される発熱素子１０ａがまとまって互いに隣接して位置する状態）とは異なる状態をいう。なお、図９Ａに示すように、分割印刷を行わない、全ての発熱素子１０ａの通電をオン（黒丸）とする一括印刷を行うことができる、印刷回数が１回になる場合の印刷ラインデータについて、図９Ｂに示すように２分割印刷を行う、印刷回数が２回になる場合には、印刷ラインデータ決定部５２は、１回目の印刷時に発熱する発熱素子１０ａと２回目の印刷時に発熱する発熱素子１０ａが配列方向Ａに交互に並ぶように、印刷ラインデータを決定するとよい。図９Ｃに示すように、３分割印刷を行う、印刷回数が３回になる場合には、印刷ラインデータ決定部５２は、１回目の印刷時に発熱する発熱素子１０ａと２回目の印刷時に発熱する発熱素子１０ａと３回目の印刷時に発熱する発熱素子１０ａとが配列方向Ａに交互に並ぶように印刷ラインデータを決定するとよい。なお、図９Ｂ及び図９Ｃにおける白丸は、通電がオフの発熱素子１０ａを示す。ここで、図９Ａに示すように１印刷ラインで全ての発熱素子１０ａが発熱するのではなく一部の発熱素子１０ａのみが発熱する場合、分割印刷を行わず一括印刷を行い得るが、印刷開始時からの制御期間での印刷ラインの印刷回数を印刷内容（印刷ドット数）によらず多くしても、印刷時間の増加等のデメリットはほとんど問題にならないことから、インクリボンＲの切れを防止するための安全対策としても、印刷内容によらず分割印刷を行うのが簡易的である。なお、１印刷ラインで一部の発熱素子１０ａのみが発熱する場合であっても、印刷ラインデータ決定部５２は、上述のように１印刷ラインで全ての発熱素子１０ａが発熱する場合と同じ位置関係で、各印刷回で発熱する発熱素子１０ａの位置を決定するのが簡易的である。

#### 【００５２】

ヘッド制御部６０は、通電制御期間を指定する制御信号であるストローク信号を生成し、ヘッド駆動回路９へ出力する。ヘッド制御部６０は、より詳細には、ＲＯＭ６の通電テーブル記憶部６ａから読み出した通電時間データとサーミスタ１３で測定したヘッド温度に基づいて通電時間を算出する。そして、通電時間に応じたストローク信号（制御信号）と、印刷ラインデータ決定部５２が決定した印刷ラインデータと、をヘッド駆動回路９へ出力する。なお、通電時間は、通電制御期間の時間的な長さである。

#### 【００５３】

制御装置５は、印刷装置１において設定され印刷モード記憶部７ｂに記憶された印刷モードに基づき、ステッピングモータ１２を制御する。印刷モードは、例えば、印刷品位を優先する高精細モードと印刷速度を優先する高速モードとを含み、上述の入力部３において設定される。なお、ステッピングモータ１２による被印刷媒体Ｍの搬送速度は、印刷回数が多くなるほど遅くなり、高速モードよりも高精細モードにおいて遅くなるように設定される。

#### 【００５４】

図７は、本実施の形態に係る印刷制御方法を説明するためのフローチャートである。

以下、図７を参照しながら、制御装置５が行う処理について具体的に説明する。印刷装置１では、入力部３から印刷処理の開始が指示されると、制御装置５が印刷プログラムを実行して図７に示す印刷制御処理を行う。

#### 【００５５】

まず、制御装置５は、テープ幅検出スイッチ２４からの信号に基づいて被印刷媒体Ｍの幅を取得する（ステップＳ１）。

次に、印刷回数決定部５１は、被印刷媒体Ｍの幅が、サーマルヘッド１０により一括印刷可能な幅（所定長さの一例）以下であるかを判定する（ステップＳ２）。なお、一括印刷可能な幅については、ＡＣアダプタの電流容量の閾値に対応する数の発熱素子１０ａで一括印刷可能な被印刷媒体Ｍの幅であるかを判定するとよい。

#### 【００５６】

被印刷媒体Ｍの幅が一括印刷可能な幅以下であると判定されると（ステップＳ２：ＹＥＳ）、印刷回数決定部５１は、制御期間における印刷開始時から所定数の印刷ラインの印

刷回数を、通常動作期間における印刷ラインの印刷回数よりも多くするように、印刷回数を決定する（ステップ S 3）。例えば、印刷回数決定部 5 1 は、制御期間における印刷ラインの印刷回数を、通常動作期間における印刷回数である 1 回よりも多い 2 回に決定する。また、印刷回数決定部 5 1 は、一括印刷可能な幅を超える被印刷媒体 M（ステップ S 2：N O）に関しては、印刷ラインの印刷回数を印刷データに応じて例えば 2 回に決定する（ステップ S 1 0）。そして、印刷ラインデータ決定部 5 2 は、印刷回数が 2 回の印刷ラインについて、印刷データに基づき、例えば上述の図 9 B に示すように印刷ラインデータを決定する。

#### 【0057】

印刷回数の決定処理（ステップ S 3，S 1 0）後、制御装置 5 は、印刷装置 1 の入力部 3 等で設定され印刷モード記憶部 7 b に記憶された印刷モードを取得し（ステップ S 4，S 1 1）、高速モードであるかを判定する（ステップ S 5，S 1 2）。

#### 【0058】

印刷モードが高速モードであると判定されると（ステップ S 5，S 1 2：Y E S）、制御装置 5 は、ステッピングモータ 1 2 を、低速状態から高速状態へ段階的に速度を速めるスローアップ搬送を行うように制御する（ステップ S 6，S 1 3）。このスローアップ搬送は、ステッピング 1 2 を高速状態（例えば 4 0 m m / s）へ一気に加速することができない場合に行われる。なお、スローアップ搬送は、後述する印刷処理（ステップ S 7，S 9，S 1 4）と同時に行われる。制御装置 5 は、印刷回数及び印刷モードに応じた搬送速度（印刷速度）を所定のテーブルを参照して取得するとよい。また、ステッピングモータ 1 2 による被印刷媒体 M の搬送速度（印刷速度）は、印刷回数が多くなるほど遅くなり、高速モードよりも高精細モードにおいて遅くなるように設定される。なお、搬送速度は、サーミスタ 1 3 から取得されるヘッド温度、温度センサ 2 5 から取得される环境温度などに基づいて決定されてもよい。

#### 【0059】

上記の印刷モードが高速モードでなく高精細モードであると判定された後（ステップ S 5，S 1 2：N O）には、スローアップ印刷（ステップ S 6，S 1 3）が行われずに低速状態のまま搬送が行われる。なお、低速状態において、印刷回数が 2 回である場合には例えば 1 0 m m / s、印刷回数が 1 回である場合には例えば 2 0 m m / s となるなど、印刷回数に応じて搬送速度は異なる。また、高速状態においても、印刷回数が 2 回である場合には例えば 2 0 m m / s、印刷回数が 1 回である場合には例えば 4 0 m m / s となるなど、印刷回数に応じて搬送速度は異なる。

#### 【0060】

次に、印刷開始時からの制御期間における印刷ラインの印刷回数を 2 回に決定した処理（ステップ S 3）を経た場合、ヘッド制御部 6 0 は、通電時間に応じたストローク信号（制御信号）と、印刷ラインデータ決定部 5 2 が決定した印刷ラインデータと、をヘッド駆動回路 9 へ出力する。また、ヘッド駆動回路 9 は、制御装置 5 から供給されたストローク信号及び印刷ラインデータに基づいてサーマルヘッド 1 0 を駆動することで、制御期間における印刷ラインの印刷が終了まで印刷回数 2 回の分割印刷が行われる（ステップ S 7，S 8）。

#### 【0061】

制御期間における印刷が終了した場合、印刷ラインごとに印刷回数 1 回の一括印刷が上記と同様の制御で行われる（ステップ S 9）。また、印刷開始時からの制御期間における印刷回数を 2 回に決定した処理（ステップ S 3）を経ない場合には、印刷ラインごとに決定された印刷回数での印刷が上記と同様の制御で行われる（ステップ S 1 4）。なお、図 7 の例では、一括印刷可能な幅の被印刷媒体 M に関して、印刷開始時からの制御期間における印刷回数が 2 回で、その他の印刷ラインの印刷回数が 1 回である場合を例に説明したが、これらの印刷回数をベースにして、印刷データの内容に応じて印刷回数を増減させてもよい。例えば、上述のように、印刷回数が 2 回と決定された印刷ラインであっても、印刷ドットの数がある基準よりも少ない場合などには印刷回数を 1 回にしてもよい。

## 【 0 0 6 2 】

図 1 0 は、本実施の形態の変形例に係る印刷システム 1 0 0 を示す斜視図である。

図 1 1 は、本変形例に係る印刷システム 1 0 0 の制御装置 5 b を示す制御ブロック図である。

図 1 0 及び図 1 1 に示す印刷システム 1 0 0 は、印刷制御装置 8 0 と、印刷装置 1 a と、を備える。印刷制御装置 8 0 は、例えば、標準的なコンピュータであり、プロセッサ、メモリ、ストレージ等を備えている。印刷システム 1 0 0 は、上述の印刷装置 1 の一部の処理が印刷制御装置 8 0 で行われる点が、印刷装置 1 とは異なる。

## 【 0 0 6 3 】

印刷制御装置 8 0 は、プロセッサがプログラムを実行することで印刷装置 1 のデータ生成部 5 0 と同様に機能するデータ生成部 9 0 を備えている。このデータ生成部 9 0 は、印刷装置 1 の印刷回数決定部 5 1 と同様に機能する印刷回数決定部 9 1 と、印刷装置 1 の印刷ラインデータ決定部 5 2 と同様に機能する印刷ラインデータ決定部 9 2 と、を備えている。即ち、印刷制御装置 8 0 は、印刷回数決定部 9 1 により印刷回数を決定し、決定された印刷回数に基づいて印刷ラインデータを決定し、この印刷ラインデータを印刷装置 1 a (印刷データ記憶部 7 a) へ出力するように構成されている。

## 【 0 0 6 4 】

印刷装置 1 a は、制御装置 5 の代わりに制御装置 5 b を備える点が印刷装置 1 とは異なる。制御装置 5 b は、ヘッド制御部 6 0 を備えているが、データ生成部 5 0 を備えていない。このため、印刷装置 1 a では、データ生成部 5 0 は、印刷データ記憶部 7 a に格納された印刷ラインデータに基づき、ヘッド駆動回路 9 を制御する。

## 【 0 0 6 5 】

以上説明した本実施の形態では、印刷装置 1 及び印刷システム 1 0 0 は、複数の発熱素子 1 0 a を有し、印刷データに基づいて被印刷媒体 M に複数の印刷ラインによる画像を印刷するサーマルヘッド 1 0 と、制御装置 5 と、を備える。制御装置 5 は、サーマルヘッド 1 0 による印刷開始時から制御期間が経過した後の通常動作期間では、一つの印刷ラインの印刷を、印刷データに応じた少なくとも 1 回の第 1 の印刷により行うように制御し、制御期間では、印刷データによらず、一つの印刷ラインの印刷を、複数の発熱素子 1 0 a を複数のグループに分割してグループ毎に時分割で印刷する複数回の第 2 の印刷により行うように制御する。また、本実施の形態では、制御装置 5 は、通常動作期間では、第 1 の印刷として、印刷データに応じて通電される発熱素子 1 0 a の数に応じて、通電される発熱素子 1 0 a を一括駆動して行う一括印刷又は通電される発熱素子 1 0 a を複数のグループに分割してグループ毎に時分割で駆動して行う分割印刷を行うように制御する。

## 【 0 0 6 6 】

このように印刷開始時からの制御期間における印刷ラインの印刷回数を多くするという簡単な制御によって、印刷開始時にサーマルヘッド 1 0 やサーマルヘッド 1 0 を冷却する放熱板等の冷却部に熱が蓄積していない状態でサーマルヘッド 1 0 が急激に加熱されるのを緩和することができる。そのため、急激な加熱に対応して生じる、熱が蓄積していないことに起因するサーマルヘッド 1 0 の急激な冷却を回避することで、サーマルヘッドが高温状態から低温状態に急激に温度が下がるときに生じやすいスティッキングの発生を抑制することができる。また、印刷開始時では、インクリボン R が静止状態から動き始めるために、インクリボン R に対して加速度が生じて、インクリボン R に比較的大きな引張り力がかかるが、印刷回数を印刷開始時からの制御期間での印刷ラインで多くして被印刷媒体 M の搬送速度を遅くすることで、上記の引張り力を弱めることができる。よって、本実施の形態によれば、簡単な制御で、インクリボン R が切れるのを抑制することができる。

## 【 0 0 6 7 】

また、本実施の形態では、制御装置 5 は、制御期間に印刷される複数の印刷ラインにおいて、グループ毎の発熱素子 1 0 a を複数の発熱素子 1 0 a の配列方向 A に互いに分散して位置させる。より望ましくは、制御装置 5 は、制御期間に印刷される複数の印刷ラインにおいて、グループ毎の発熱素子 1 0 a が配列方向 A に互いに交互に並ぶように位置させ

る。これにより、発熱する発熱素子 10a が被印刷媒体 M の幅方向に分散して位置するため、各印刷時に、発熱する複数の発熱素子 10a が密集する場合と比較してスティッキングの発生を抑制することができ、したがって、インクリボン R が切れるのをより一層抑制することができる。

【0068】

また、本実施の形態では、印刷装置 1 は、被印刷媒体 M の幅を検出する幅検出部の一例であるテープ幅検出スイッチ 24 を更に備える。また、制御装置 5 は、被印刷媒体 M の幅が、印刷装置 1 により一括して通電することが可能な数の発熱素子 10a に対応する長さ以下である場合に、通常動作期間においては、一つの印刷ラインを 1 回の第 1 の印刷により印刷するように制御し制御期間においては、一つの印刷ラインを 2 回以上の第 2 の印刷により印刷するように制御する。そのため、サーマルヘッド 10 が急激に加熱されることでスティッキングが発生しやすい一括印刷が行われる被印刷媒体 M に対し、印刷回数を多くすることでサーマルヘッド 10 の急激な加熱を抑制し、ひいてはスティッキングの発生を抑制することができる。したがって、インクリボン R が切れるのをより一層抑制することができる。更には、幅が狭い被印刷媒体 M ほど、スティッキングが発生した場合の印刷開始時に被印刷媒体 M に強い引っ張り力が生じるため、スティッキングの発生を抑制することで、引っ張り力を弱めることができるため、この観点でも、インクリボンが切れるのをより一層抑制することができる。

【0069】

以上、本発明の一実施の形態を説明したが、本願発明は特許請求の範囲に記載された発明とその均等の範囲を含む。以下に、本願の出願当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

【0070】

[付記 1]

複数の発熱素子を有し、印刷データに基づいて被印刷媒体に複数の印刷ラインによる画像を印刷するサーマルヘッドと、

制御装置と、  
を備え、

前記制御装置は、

前記サーマルヘッドによる印刷開始時から制御期間が経過した後の通常動作期間では、一つの前記印刷ラインの印刷を、前記印刷データに応じた少なくとも 1 回の第 1 の印刷により行うように制御し、

前記制御期間では、前記印刷データによらず、一つの前記印刷ラインの印刷を、前記複数の発熱素子を複数のグループに分割してグループ毎に時分割で印刷する複数回の第 2 の印刷により行うように制御する、

ことを特徴とする印刷装置。

【0071】

[付記 2]

前記制御装置は、前記通常動作期間では、前記第 1 の印刷として、前記印刷データに応じて通電される前記発熱素子の数に応じて、前記通電される前記発熱素子を一括駆動して行う一括印刷又は前記通電される前記発熱素子を複数のグループに分割してグループ毎に時分割で駆動して行う分割印刷を行うように制御する、

ことを特徴とする付記 1 記載の印刷装置。

【0072】

[付記 3]

前記制御装置は、前記制御期間に印刷される前記複数の印刷ラインにおいて、前記グループ毎の前記発熱素子を前記複数の発熱素子の配列方向に互いに分散して位置させる、

ことを特徴とする付記 1 又は 2 記載の印刷装置。

【0073】

[付記 4]

前記制御装置は、前記制御期間に印刷される前記複数の印刷ラインにおいて、前記グループ毎の前記発熱素子が前記配列方向に互いに交互に並ぶように位置させる、  
ことを特徴とする付記 3 記載の印刷装置。

【 0 0 7 4 】

[ 付記 5 ]

前記被印刷媒体の幅を検出する幅検出部を更に備え、

前記制御装置は、前記被印刷媒体の幅が、前記印刷装置により一括して通電することが可能な数の発熱素子に対応する長さ以下である場合に、前記通常動作期間においては、一つの印刷ラインを 1 回の前記第 1 の印刷により印刷するように制御し前記制御期間においては、一つの印刷ラインを 2 回以上の前記第 2 の印刷により印刷するように制御する、

10

ことを特徴とする付記 1 から 4 のいずれか記載の印刷装置。

【 0 0 7 5 】

[ 付記 6 ]

印刷装置と、

印刷制御装置と、を備え、

前記印刷装置は、複数の発熱素子を有し、印刷データに基づいて被印刷媒体に複数の印刷ラインを印刷するサーマルヘッドを備え、

前記印刷制御装置は、前記サーマルヘッドによる印刷開始時から制御期間が経過した後の通常動作期間では、一つの印刷ラインの印刷を、前記印刷データに応じた少なくとも 1 回の第 1 の印刷により行うように制御し、

20

前記制御期間では、前記印刷データによらず、一つの印刷ラインの印刷を、前記複数の発熱素子を複数のグループに分割してグループ毎に時分割で印刷する複数回の第 2 の印刷により行うように制御する、

ことを特徴とする印刷システム。

【 0 0 7 6 】

[ 付記 7 ]

複数の発熱素子を有するサーマルヘッドを備える印刷装置又は当該印刷装置を制御する印刷制御装置が、前記サーマルヘッドによる印刷開始時から制御期間が経過した後の通常動作期間では、一つの印刷ラインの印刷を、前記印刷データに応じた少なくとも 1 回の第 1 の印刷により行うように制御し、

30

前記制御期間では、前記印刷データによらず、一つの印刷ラインの印刷を、前記複数の発熱素子を複数のグループに分割してグループ毎に時分割で印刷する複数回の第 2 の印刷により行うように制御する

ことを特徴とする印刷制御方法。

【 0 0 7 7 】

[ 付記 8 ]

複数の発熱素子を有するサーマルヘッドを備える印刷装置のコンピュータ、又は、前記印刷装置と当該印刷装置を制御する印刷制御装置とを備える印刷システムのコンピュータに、

40

前記サーマルヘッドによる印刷開始時から制御期間が経過した後の通常動作期間では、一つの印刷ラインの印刷を、前記印刷データに応じた少なくとも 1 回の第 1 の印刷により行うように制御させ、前記制御期間では、前記印刷データによらず、一つの印刷ラインの印刷を、前記複数の発熱素子を複数のグループに分割してグループ毎に時分割で印刷する複数回の第 2 の印刷により行うように制御させる機能、

を実現させることを特徴とするプログラム。

【 符号の説明 】

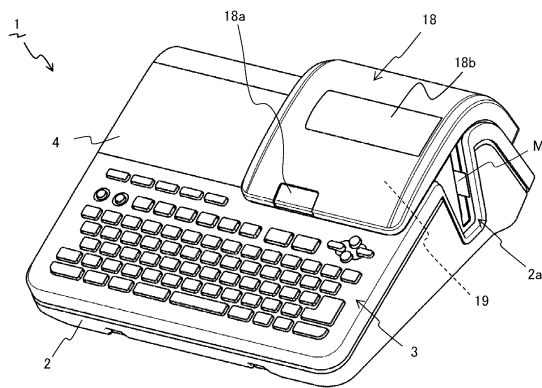
【 0 0 7 8 】

1 , 1 a . . . 印刷装置、 5 , 5 b . . . 制御装置、 5 a . . . プロセッサ、 6 . . . ROM、 7 . . . RAM、 7 a . . . 印刷データ記憶部、 7 b . . . 印刷モード記憶部、

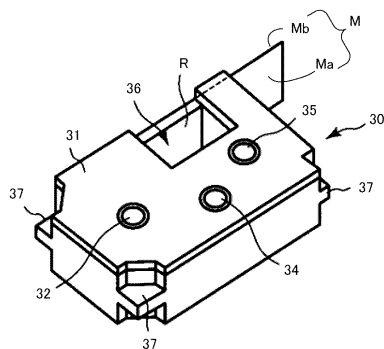
50

10・・・サーマルヘッド、10a・・・発熱素子、12・・・ステッピングモータ、24・・・テープ幅検出スイッチ、50, 90・・・データ生成部、51, 91・・・印刷回数決定部、52, 92・・・印刷ラインデータ決定部、60・・・ヘッド制御部、80・・・印刷制御装置、100・・・印刷システム、A・・・配列方向（主走査方向）、D・・・搬送方向、M・・・被印刷媒体、R・・・インクリボン

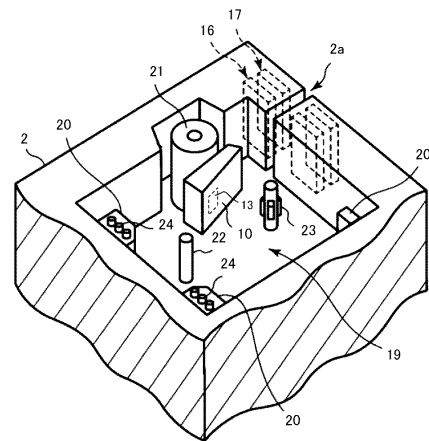
【図 1】



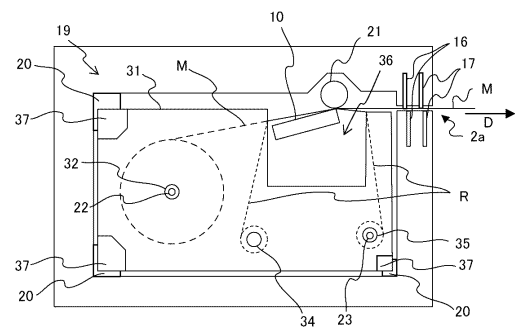
【図 2】



【図 3】

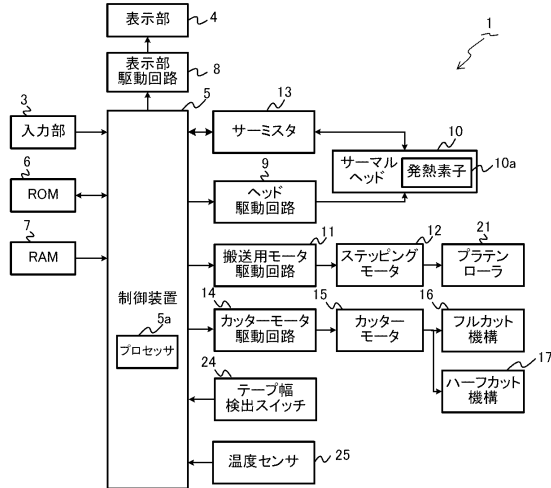


【図 4】

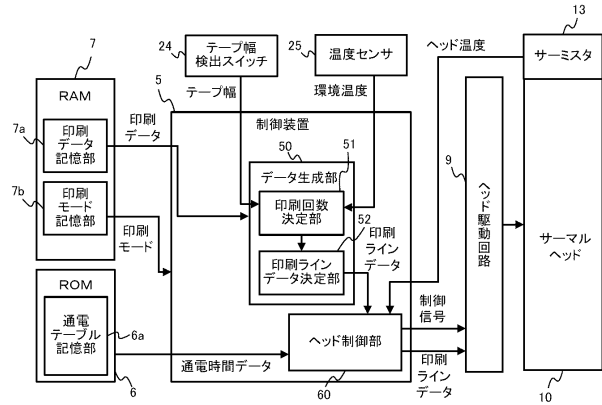




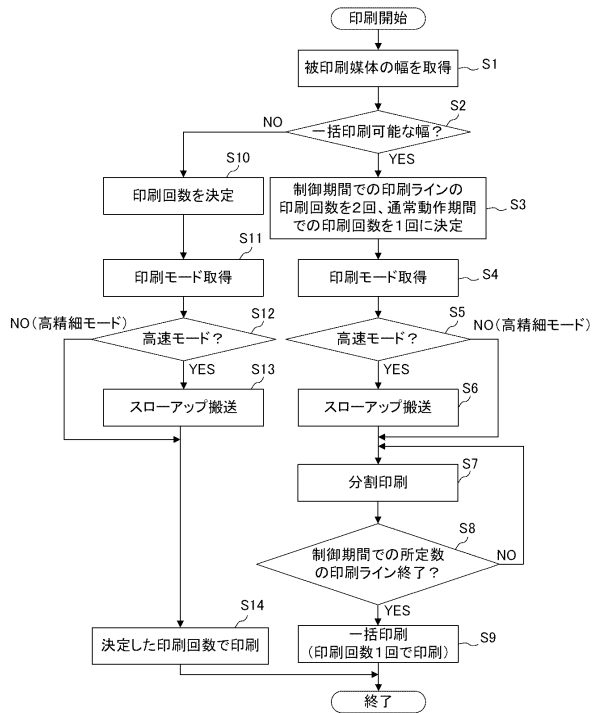
【図 5】



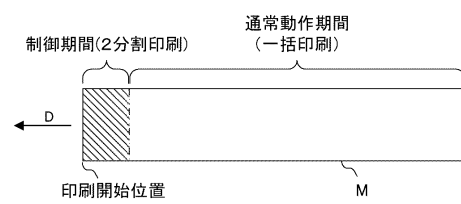
【図 6】



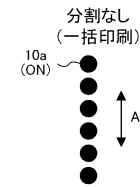
【図 7】



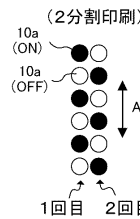
【図 8】



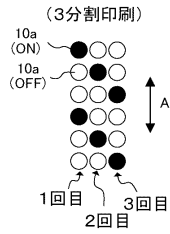
【図 9 A】



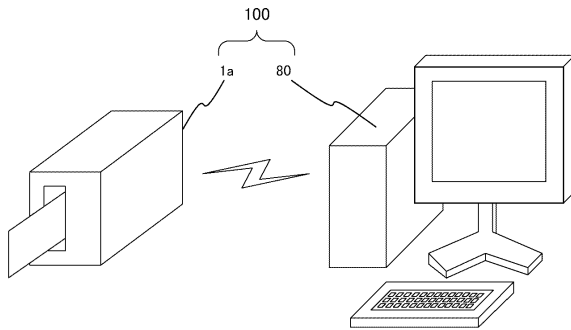
【図 9 B】



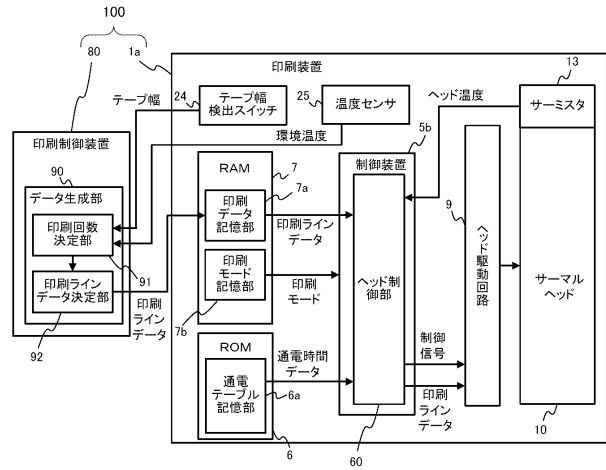
【図 9 C】



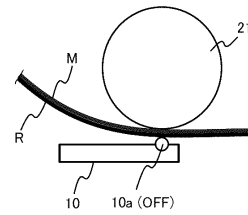
【図 10】



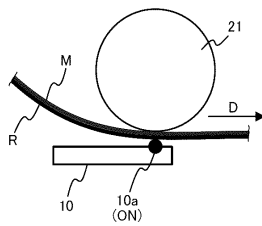
【図 11】



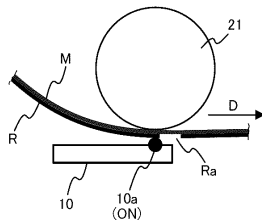
【図 12 A】



【図 12 B】



【図 12 C】



---

フロントページの続き

- (56)参考文献 特開2009-269354(JP,A)  
特開平04-197659(JP,A)  
特開2001-063124(JP,A)  
米国特許出願公開第2006/0109338(US,A1)  
特開平08-025678(JP,A)  
特開平07-068826(JP,A)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)  
B41J 2/355